



■私の意見

十月、ふるさと三宮へ復帰 講座の充実で恩返し

神戸新聞文化センター（KCC）
理事長

井上 照弥

「KCCにとって、本当の意味での震災復興が終わるのは、今年の十月です」。こう言う、たいいていの方は怪訝な顔をされる。KCCはハーバーランドの本部のほかに神戸市内だけでも三支部を持ち、活発に活動している。震災の痛手からとくに立ち直っているのではない。そう思われるらしい。

震災十年で復興は終了したというのが一般的な見方だが、一方でソフト面はまだまだ、との声も耳にする。KCCの場合、一九三七年の設立以来ずっと本拠にしてきた三宮の神戸新聞会館が全壊し、泣く泣く退去した。「ふるさと三宮へ帰ることができてこそ真の復興。それが十月なんです」と説明して、初めて納得してもらえる。

KCCが入居するミント神戸は、震災前の新聞会館とまったく同じ場所に建つ。すでに六百講座を用意し、七月末から受講生を募集しているが、おかげさまで反応はよい。

ここまで来られたのは、もちろん自分たちだけの力ではなく、周りの支援があつてのこと。だ

から、次はわれわれがお返しをする番である。

カルチャーセンターとして神戸の文化向上と発展にいささかでも貢献するには、どうすればよい。多様なニーズに応えるべく多彩な講座をそろえる。優秀な講師を招聘する。各講座の内容を充実させる。それ以外にはあり得ない。

少し大げさかもしれないが、震災を生き延びることのできたものには、社会的な使命があると思っている。「試練を潜り抜けてきたところは、やはり違う」——そう評価されることが、ふるさと復帰を実現できたわれわれKCCの責任である。

三宮KCCは10月6日からミント神戸17階でオープンする。教室はレクチャー室、バレーホール、音楽室、和室、特別教室など17室。
講座に関する問い合わせ・資料請求は、

■神戸市中央区雲井通7-1-1
■☎078-265-1100
■<http://kcc.kobe-np.jp/>



田崎社長とラッセルアメリカ総領事



岩本達也さん

仲井昇監督



上海のパールプリンセスと、田崎社長、副社長ら

上海田崎真珠主宰のパールプリンセス神戸本社へ来訪 サマー・クラシカルフィルムフェスティバル開く

7月28日の午後。田崎真珠本社2階において、中国の現地法人・上海田崎真珠有限公司主宰のもと、本年4月パールプリンセスコンテストを開催し、選ばれたパールプリンセスの許韵博（シユン・ユンボウ）さんと、準パールプリンセスの蔡燕婷（ツァイ・イエンティン）さんが来神し、紹介された。

田崎俊作社長は「上海における真珠の普及と啓蒙の役目を担った美女たちは、素晴らしく真珠の似合う方々です」と。

8月3日～5日の3日間、日米文化交流を目的に、タサキスワンクラブが、在大阪神戸アメリカ総領事館ダニエル・ラッセル氏の作品選定による、サマー・クラシカル・フィルムフェスティヴァル「愛・エロス・勇氣」を、在大阪・神戸アメリカ領事館の後援を得て開催。3日は「カサブランカ」、4日は「北北西に進路を取れ」と「雨に唄えば」、5日は「お熱いのがお好き」と「E・T（1982）」を上映。初日は田崎俊作社長、2日目は仲井昇タサキペル1レ監督、3日目はNTTの岩本達也氏が講演し大好評だった。



会を主催した伊丹市から
藤原保幸市長があいさつ



作家・藤本義一さん



小山乃里子さん



「ひとつきだけの田辺聖子文学館」展開催を祝う会

伊丹で開催

作家・田辺聖子さんが伊丹市に住んで30周年を記念して「ひとつきだけの田辺聖子文学館」が、8月5日から27日まで柿衛文庫で開催されたのを祝い、8月5日伊丹シティホテルで「田辺聖子展覧会開催を祝う会」が開かれた。伊丹は、万葉の古歌に「猪名野」の名で登場する地。田辺さんは引越してきたばかりのとき猪名野行きと書かれたバスを見て「歌枕の地に住んでいる」と感動したというエピソードを語った。

祝う会では、まず作家・藤本義一さんがお祝いのことばで、ラジオ録音のスタジオで田辺さんと初めて会ったことや、カモカのおっちゃんとの思い出などを。乾杯の音頭は、『大阪学』の大谷晃一さん。伊丹の銘酒・老松と白雪で乾杯。末次攝子さん、永田萌さんといったお友達が、花束をわたし、会場はなごやかな雰囲気。その後も関西在住の多くの作家や文化人の皆さんがたてつづけにあいさつ。「田辺さんのようなやわらかい文章を書く関西の女性作家は多数出たが、田辺さんほど豊かなことばで表現をする作家はいない」という言葉も。多くの人が集まり、変わらぬ田辺作品人気と、田辺さんのお人柄がうかがわれた。

日本における初の近代洋服は
「神戸洋服」という
ブランドとして愛された



初代柴田音吉氏が手がけた
伊藤博文公のフロックコート。

明治16年、元町に開店した柴田音吉洋服店。
当時では珍しい洋風の建物も注目を集めた。
(写真提供／柴田音吉洋服店)



明治2（1869）年、英国人カベル氏が、居留地（現神戸市役所東遊園地周辺）16番館に開店したのが、神戸で初めての洋服を扱う商店だった。次いで、30番館にスキップ氏がほぼ同時に開業した。その後、彼らから技術を学んだ日本人技術者たちが、次々に開業し、神戸近代洋服隆盛の基盤はここに築かれたといってもよい。

近代洋服とは、タキシードや、ビジネススーツなどの洋装のこととて、それまでは軍服などは作られていたが、庶民はもちろん和装だった。長い鎖国の時代を終え、開港後、日本人が洋装で出かける場がどんどん増えていった当時、洋服店（テーラー）には、洋服の注文が殺到したという。

現在、元町商店街4丁目に店をかまえる柴田音吉洋服店は、



非常にモダンなエントランスの
創業時の柴田音吉洋服店。



東遊園地にある「近代洋服発祥の地」のモニュメント。洋服を作る際の身頃と、そでの部分（後方）をモチーフとしている。



宮崎辰雄市長（当時）による文字。



たくさんの職人が洋服を仕立てている明治時代のテラー。
（写真提供／柴田音吉洋服店）

日本人による最初のテラー。創業者・初代柴田音吉氏は、カペル氏に弟子入りし、技術を学んだ後、明治16年元町にテラーを開業した。現在の社長である4代目柴田音吉氏によると、初代は近江商人で、これからは洋服の時代だといって神戸にやって来たとのこと。初代音吉氏は、当時の兵庫県知事であった伊藤博文公のフロッグコートをはじめ、明治天皇陛下のお召し服も手がけたことがあるという。「当時は陛下のお身体に触れるなど絶対に許せなかったはずなのに、どうやって採寸、型紙を作ったのか判りません。が、それほど天才的な人だったらしいんですよ、初代は。職人肌の人だったと聞いています」と、4代目音吉氏。柴田音吉洋服店は、現在も、かつて近代洋服が神戸で誕生した当時と同じように、ハンドメイド注文紳士服を承るテラーの看板をあげている。注文を受け、すべて自社工場でハンドメイドで制作する、数少ないテラーである。

明治25（1892）年には神戸洋服商工業協同組合が結成

された。神戸港は、海外への出国、帰国の玄関口となり、ヨーロッパ先進国の流行がそのまま上陸してきた地だった。特に服飾界の主体である紳士服は、民間ファッションの最先端として注目を集めた。そして、神戸で作られた洋服「神戸洋服」という名称が、洋行婦りの諸氏たちに語り継がれ、いつしか国内に広まっていったのだという。

戦後、昭和32（1957）年に、神戸新聞会館と神戸オリエンタルホテルにおいて、日本で初めて紳士服の国際ファッションショーが開かれるなど、神戸は紳士服のまちとして、全世界に広まっていった。

そんな洋服の歴史を顕彰しようと、昭和49（1974）年、東遊園地に「日本近代洋服発祥の地」記念碑が建てられた。モニュメントは、洋服を作る際の前みごろと後みごろ、そでの型紙をもとに作られたユニークな彫刻。制作は、彫刻家・山口牧生氏らがつくる「環境造形グループQ」。当時の宮崎辰雄市長による「日本近代洋服発祥の地」の文字が刻まれている。

芦漫 厨房

romantic
ashiyan
kitchen

ろまんちゅうぼう

volume.6

芦屋ライクを
西神戸で

本家かもめ屋
HONKE KAMOMEYA
神戸総合運動公園店



大きな窓。高い天井。ゆったりとしたテーブル。「食べる」のではなく「食事を愉しむ」という芦屋のスタイルが伺える店内は、空間までもが「ごちそう」だ。

この4月にオープンした本家かもめ屋神戸総合運動公園店は、スカイマークスタジアムのおとなり。花火ナイターの時はよく見え



るそうだ。

お料理はステーキと海老のグリルが自慢。ステーキは北海道産の大豆を使用した天然味噌に生醤油と香辛料を合わせ熟成を繰り返し、たかもめ屋秘伝の味噌だれで。海

老は車海老としてはかなり大きなサイズのものを使用し、食べ応えもある。

個室もあるので、大切な記念日やお食事に。おすすめのランチは年配の方にも人気が高い。

information

本家かもめ屋 HONKE KAMOMEYA
神戸総合運動公園店

神戸市西区学園東町6-2-2 (総合運動公園西側)

無休

営業時間 11時～14時30分 (LO)、17時～21時30分 (LO)

☎0120-451-291



円 熟の街の新しい「名店」を

芦屋から新に全国ブランドとして出発する、数々のシーンに立ち会った。

成功者の共通することは、事前に調査されていること。それも自身の足で。調査会社等の意図したアレンジされたデータ等ではない。思考的にフレキシビリティが高く、既成概念や自身の理解度にとどまらず、想像力が高いということも共通する。

今は比較的新しいお店で、人気・評価の高いお店を。

「本家かもめ屋」は芦屋発の著名ラーメン店のセカンドビジネス。「庵三道」は人気のアミューズメントスポット・茶屋の町にある飲茶が人気の中華。「茶花飯花」は広島のアパレルメーカーのアンテナショップです。

円熟した大人の街！芦屋で貴方も人生を楽しんでください！

Ⅰ 完 Ⅰ

甲南ジャーナル

編集長

山岡雅章

(ナビゲーターモデルは)

雑誌モデル育成事業参加者・川脇未央

新鮮な魚介で、味の追道を



香港スタイル
で広東料理や飲
茶を味わえる庖
三道。

広東と言えば
海鮮。活みる貝
のしゃぶしゃぶ
(3097円)は、

新鮮なみる貝をサッと湯に通して、特製のタレで。また、平打ち麺の冷麺をトマト仕立てのスープでいただくなど、創造性の高い料理の数々がメニューを彩る。

点心は持ち帰り
もOK。飲茶のオ
ーダーバイキング
は2500円とお
値打ちだ。

明るいテーブル
を囲んで、気の合
う仲間と賑やかに。
そんなときにおす
めしたいチャイ
ニーズレストランだ。



information

庖三道 (バウサンショウ)

芦屋市茶屋之町11-11
月曜定休(祝日の場合翌日)
営業時間 11時~15時
17時~22時(21時30分LO)
☎0797-32-8322

庖三道

お茶?お食事? それともお買い物?

chaka meka
茶花飯花

オシャレでかわいい、だけじゃない。茶花飯花は昼はのんびりとお茶を愉しめ、夜はしっかりと食べられる重宝なカフェダイニング。カフエタイムには手づくりのケーキを。マスカットと柑橘がベースのオリジナルのフレイバーティは、茶葉も販売している。

8月よりオリジナルブランド「LUXE」の服も販売。帽子や靴などアイテムや雑貨もセレクトで取り揃え。くつろぎながらお気に入りの服を見つける。そんなスタイルを叶える注目のスポットだ。



information

茶花飯花 chaka meka

芦屋市大樹町5-8-101
月曜定休
営業時間 11時~22時(21時30分LO)
☎0797-25-0165



ぴとん

あの国の料理がご家庭に！

世界の食卓と

おもてなしの出勤

サービス

せかしよく

「Sekasyoku」

セカチュウならぬ「Sekasyoku」は、世界のお料理のデリバリーサービス。でも宅配ピザとちがうのは、シェフとその国の文化も一緒にお家につけて来るところ。ちよつとちがつたパーティーをしたい人は、チェックしてみて。



お料理の一例。これはペルー料理。
写真提供/多言語センターFACIL

どを相談してみよう。食材やお料理内容だけでなく、派遣されるシェフも、家庭料理からレストランで働いていたベテラ

「Sekasyoku」の事務局である「多言語センターFACIL」は普段、日本に住む外国人の生活に必要な情報や書類などを翻訳するなどの活動を行なっている。地域に住む、料理が上手な外国人が腕をふるえる場所があればと、このサービスを始めた。「おいしいお料理を食べて、こんな文化の国の人々が、地域で一緒に暮らしてるんだ、と実感してほしいです」と、FACIL代表の吉富志津代さん。

ンシェフまで幅広いので、それぞれいいねに見積もりをしてくれるのも嬉しい。料理教室やプチ語学講座などのオプションもある。注文は5人前〜なので、パーティーやお友達と一緒にご利用を。シェフ派遣費用は1万円、それに交通費や材料費がプラスされる。そして、このサービスの主旨をわかった上で利用してほしいと、入会金3000円（永年会員）の会員登録をお願いしている。

ペルーの民族舞踊。オアションで、民族舞踊や民族音楽などを楽しむことも。



■Sekasyoku 多言語センターFACIL
神戸市長田区久保町6-1-1-201
アスタくにつか4番館2階
☎078-736-3040
<http://www.tcc117.org/facil-kids/>



左右の写真とも提供/多言語センターFACIL

六甲味散歩 Rokko Aza Sampo

第13回 宇宙軒 うちゅうけん



鈴木正幸

Masayuki Uzaki
〈神戸大学名誉教授〉
〈近畿大豊岡短大教授〉

JR 六甲道駅、徒歩 20 秒。
メニューは焼きギョーザ一品のみ。簡素の極みである。店の名前は気宇壮大にして「宇宙軒」。
ママの中田とよ子さんがこの地に店をオープンしたのは昭和 42（1967）年である。私が神戸大学にきたのが 1972 年だから 30 年以上のお付き合いとなる。平成元年、駅の改築と共に今の店となり、震災の大きなダメージを乗り越えて今日に至る。戦時期に旧満州で味わったギョーザの味を、日本の人に知ってもらいたいと思ったのが開店の動機という。
母娘の息の合った段取りが見事。満喜子さんが手早く具を包む。それをママがすぐさま焼き上げる。アツアツを頼張る。これが何ともいえない。皮は具が

透けるほど薄い、コンガリと焼け、存在感がある。口に入れるととろけるように柔らかい。しっとりしていて、いとおしい味と言おうか、サッパリしているのでもいくらかでも食べられる、クセになる味。しかも安い。ワインも取り揃えられ、女性客に人気とか。
土地柄、お客さんには神戸大学の学生も多い。社会人となってもこの味が忘れられず、再び訪れる。六甲の顔としていつまでも頑張ってほしい店である。

宇宙軒（うちゅうけん）

JR六甲道駅北側すぐ
フォレスト六甲1階
☎ 078-851-4044
16:00～19:00頃
日・月曜・祝日休



左からママの中田とよ子さん、
神戸大医学部学生でアルバイトの岡野君、
娘さんの八百谷満喜子さん



コンガリ焼けたギョーザ、にんにくダレと
唐辛子ダレの自家製タレはお好みで



ママと筆者、右は、常連だという神戸大学の
学生さん。若者や女性の常連客が多い。





10月でオープンから二周年
お客さんとの会話や距離感を大切に



10月で記念すべき二周年を迎える
スナック「ゴールド・ラグーン」。カ
ウンター席が配置された様子を「入
り江」に見たててネーミングしたと
か。ママの白川玲子さんは、神戸の
一流クラブでのキャリアを生かし、園
切れのいいトークで、お客さんを楽
しませる。「お客さんとの会話や距
離感を大切にしたいから、ゆくゆ
くはカウンター席をもっと増やした
い」。スナックというより、どちらか
といえば、バーのようなお店かもし
れない。セット料金もボトル料金も
低価格というのも嬉しい。

スナックゴールド・ラグーン
白川玲子さん

information

ゴールド・ラグーン

- 営業時間 19:00~2:00
- 定休日 日曜
- 座席 20席
- 料金 6,000~

☎078-393-8586

神戸市中央区
加納町4-7-11パレ・ド・北野坂ビル6F





パレ北の2階でスナック「ファジー」をオープンさせたのが15年前。それ以来、連日連夜、大賑わいを見せてきた。同じくパレ北の地下にある広いフロアーに移転したのが4年前のこと。これまでの黒のモノトーンのインテリアから、淡い陽が差し込むような、ラウンジらしく華やかなムードに変身を遂げた。「スナックのノリでオープンしました。女の子にはノルマも課していませんから、自然な雰囲気でのんびりと楽しんでいただけます」。ママの伊藤のり子さんの言葉通り、ラウンジでは想像できないほどの賑わいを見せている。

information

ファジー

☎078-321-6662

神戸市中央区
加納町4-7-11パレ・ド・北野坂ビルB1F

- 営業時間 20:00~1:00
- 定休日 日曜・祝日
- 座席 35席
- 料金 15,000~



自然な雰囲気でのんびりと
クラブでは想像できないほどの賑わいのお店

ラウンジファジー
伊藤のり子さん

ニューヨークの風

BATTERY DANCE COMPANY

(バッテリーダンスカンパニー)



Photo by Richard Termine

10/4(水)
19:00開演
兵庫県立芸術文化センター
(中ホール/阪急「西宮北口」徒歩3分)
一般5,000円(前売4,500円)
■芸文センターチケットオフィス
☎0798-68-0255

「バッテリーダンスカンパニー」は、1975年、ジョナサン・ホルンダー夫妻によってニューヨークで設立され、ダンスによる国際親善という理念に共鳴する優れたダンサーが世界各国から参加している。クラシックの基本を踏まえ、世界の様々な舞踊スタイルを取り入れた優美で独創的な振付と、衣装、照明の斬新な演出効果が、観衆の心を惹きつけてやまない。今回、待望の初来日公演では、話題のオリジナル作品「Shell Games」、ブーランク「2台のピアノのためのソナタ」のピアニストとのコラボレーション、新井満「千の風になって」大合唱など様々なスタイルでその魅力をお届けする。

左手のピアニスト

館野泉 ピアノコンサート



写真/満田聡

10/1(日)
16:00開演
神戸新聞松方ホール
(JR神戸駅徒歩5分/神戸情報文化ビル4階)
A席4,500円 B席3,500円(全席指定)
■神戸YWCA
☎078-231-6201

館野泉は、1936年東京生まれ、東京芸術大学を首席で卒業。世界各国でコンサートを行い、その温かく、人間味あふれる演奏によって、あらゆる地域の聴衆に深い感動を与えた。しかし2001年、演奏生活40周年記念リサイタルを全国で行なった翌年、脳溢血で倒れ右半身不随となるも、苦闘の日々を不屈の精神でのりきり、2004年5月、左手による演奏会で復帰をはたす。

今回、間宮芳生、吉松隆らによる左手のための作品のほか、バッハなどの楽曲を披露する。



藤原智子監督作品 「ベアテの贈りもの」 上映会

10/8(日)
14:00~15:30
兵庫県民会館9階ホール
(兵庫県庁南側)
一般500円(当日受付にて)
■兵庫県民会館
☎078-321-2131

日本国憲法に「男女平等」と「女性の権利」を書いたベアテ・シロタ・ゴードンと、日本女性たちの情熱と運動を世界史的視野でとらえた、映像による日本戦後女性史。

ベアテは、1923年ウィーン生まれ。父は、リストの再来といわれたピアニスト、レオ・シロタ。ベアテが5歳のとき来日するも、第二次世界大戦勃発により、両親は日本で過ごすことに。ベアテは戦後、両親のいる日本にGHQ民政局の一員として来日し、日本国憲法の草案委員会のただ一人の女性として参加、第14条人権と第24条男女平等が採択された。



1962年
大原寿恵子歌集抄板面構
大原美術館蔵
一人想ふの棚

大原美術館、クラレ秘蔵作品より 幻の棟方志功

9/13(水)~25(月)
大丸ミュージアムKOBÉ
(大丸神戸店9階)
10:00~19:30(20:00閉場)
※最終日は~17:00閉場
一般800円(前売600円)
大高生600円(前売400円)
中学生以下無料
■大丸神戸店
☎078-331-8121

棟方志功は1903年青森に生まれ、「わだば、ゴッホになる」と画家を志し上京。その後、ゴッホも愛した版画の中に独自の芸術性を見出す。国画会の審査会場で彼の版画「大和し美し」を目にした民芸運動のリーダー、柳宗悦と濱田庄司が「バケモノガタ スグコイ」と河井寛次郎に電報を打ったという。この出会いで民藝運動に活動の足がかりを得、民藝運動の理解者であり、大原美術館、(株)クラレの創設者でもあった大原孫三郎・總一郎と交流を深める。本展は、大原美術館の所蔵作品と、これまで公開されなかったクラレ秘蔵品、大原家所蔵品などを展示。「自然の叫び」から湧き出でる、世界の「ムナカタ」の迫力。

ライブハウススケジュール

ジャズライブ&レストラン SONE

- 9/1 (金) 大越理加&トリオ
 2 (土) ロアナ・シーフラ&トリオ
 3 (日) ロイヤルフラッシュジャズバンド
 4 (月) 菅まなみ&トリオ
 5 (火) 辛島すみ子&トリオ
 6 (水) 新井雅代&トリオ
 7 (木) ジャネット&トリオ
 8 (金) 北莊桂子&トリオ
 9 (土) 新井雅代&トリオ
 10 (日) 鍋島直毅クワルテット+北莊桂子
 11 (月) ロアナ・シーフラ&トリオ
 12 (火) 北浪良佳&トリオ
 13 (水) ロアナ・シーフラ&トリオ
 14 (木) 杉山千絵&トリオ
 15 (金) 辛島すみ子&トリオ
 16 (土) 宮野英子&トリオ
 17 (日) 祖田修クワルテット+北莊桂子
 18 (月) ウクレレジャズ かねだたつこ
 19 (火) キャンディー・浅田&トリオ
 20 (水) 溝口恵美子&トリオ
 21 (木) 古谷充クワルテット
 22 (金) 新井雅代&トリオ
 23 (土) 大越理加&トリオ
 24 (日) 西本貴志トリオ+新井雅代
 25 (月) 浅香久志&トリオ
 26 (火) 岩宮美和&トリオ
 27 (水) 大越理加&トリオ
 28 (木) 長谷川元伸クワルテット+北莊桂子
 29 (金) 大越理加&トリオ
 30 (土) 北莊桂子&トリオ

■JAZZ LIVE & RESTAURANT SONE

北野坂 ☎078-221-2055
<http://kobe-sona.com>
 ★ステージ18:50~23:00 計4回
 ★ミュージックチャージ900円

クラシックライブハウス ピアジュリアン

- 9/2 (土) 宮崎万里 (ヴァイオリン) 植田浩徳 (p)
 3 (日) 谷本葉子 (ヴァイオリン) 金子鈴太郎 (チェロ)
 鈴木華重子 (p)
 5 (火) 池本直絵 (フルート) 河瀬里子 (p)

- 7 (木) 寺内智子 (ソプラノ) 藤江圭子 (p)
 8 (金) 三瀬由起子 (ヴァイオリン) 仲香織 (p)
 9 (土) 南部靖佳 (フルート) 山本アキ (p)
 10 (日) 田原綾子 (ソプラノ) 森玉美穂 (p)
 13 (水) 長谷川真弓 (ソプラノ) 長谷智子 (p)
 14 (木) 佐藤和宏 (クラリネット) 藤井快哉 (p)
 16 (土) 増井一友 (ギター) 吉岡美恵子 (フルート)
 17 (日) 鈴木華重子 (p)
 19 (火) 宮本尚子他 (ピアノカルテット)
 20 (水) ビルマン良月&大竹貴子 (ヴァイオリンデュオ)
 21 (木) 森玉美穂 (p)
 22 (金) 福田幸子 (ヴァイオリン) 安達真季 (p)
 23 (土) 24 (日) 「カルメン」
 森池日佐子・田原祥一郎
 26 (火) 野山真希 (p)
 27 (水) 藤澤シリーズ企画
 アンサンブル・ハーツ
 29 (木) 小早恵 (フルート)
 30 (土) 尾吉真人 (p)



田原祥一郎 (23・24日)

■クラシックライブハウス PIA Julien

三宮駅北側近藤ビル9階 (1階マクドナルド)
 ☎078-391-8081 月曜定休
<http://pia-julien.com>
 ★ステージ19:30/21:00 (計2回)

ジャズクラブ Holly's

- 9/1 (金) 林りえ(vo)他
 2 (土) 藤本千晶(vo)他
 7 (木) 高橋玲奈(p)萬恭隆(b)樋口広大(dr)
 井上弘道(sax)
 8 (金) 山本容子(p)他
 9 (土) 三輪和代(vo)赤松真理(p)椿原崇弘(b)
 14 (木) 辰日誠治(vo)西田健(g)
 15 (金) 正木麻衣子(vo)鈴木久美子(sax)宗川信(b)
 三浦敦子(p)田辺保彦(dr)
 16 (土) the earth born
 22 (金) YOKO(vo)小泉裕子(p)森本優子(II)
 奈良原裕一(b)富樫豊(dr)
 23 (土) 畑山紀美代(vo)原田耕司(p)佐々木研太(b)
 藤田洋(dr)
 28 (木) セッションナイト
 29 (金) 辻佳孝(p)島山令(b)吉本章紘(sax)
 30 (土) 河本江開子(vo)他

■KOBE JAZZ CLUB Holly's

三宮駅北徒歩7分・新神戸駅南徒歩7分
 加納町 ☎078-251-5147
<http://kobe-hollys.com>

ライブハウス メイデンヴォエッジ

- 9/1 (金) Four Corners 天野清継 (g) ほか
 10 (日) 社会人バンド天国vol.1
 15 (金) Good Acoustic vol.15
 16 (土) Acoustic Heart Delivery/jamjip 南無他
 18 (日) 関西音楽系学生大集合!
 22 (金) Good Acoustic vol.16
 23 (土) ホンモノノウタ/オトシン 中西大介他

■Livehouse Maiden voyage

阪急六甲駅北側すぐ
 ☎078-805-0899
<http://www.koyo.net/maiden-voyage/>
 ★演奏のジャンル問わず、出演者募集中

ジャズ喫茶 カフェ萬屋宗兵衛

- 9/1 (金) THE TWO SOUNDS (ジャズ)
 3 (日) STABLE NOTESと仲間達によるセッション
 5 (火) 渡慶次みか(as)足立藍子(as)矢野亜沙巳(P)他
 8 (金) GENTLEMEN JUMP THE BLUES
 (ジャンプ ブルース)
 9 (土) 第3回 花と煙草・ピースライブと朗読会
 10 (日) Beyond the Virtual Sphere, Y/S Quartet
 (コンテンポラリージャズ)
 12 (火) Momoko (vo) 杉山悟史 (p) 他(R&B・Soul)
 17 (日) 松永明子 (vo, p) 他
 18 (月) fino (ボッサ・ジャズ)
 22 (金) Paul Fleisher (as)
 23 (土) 田中智子 (p, vo)
 24 (日) 萩野やすしオリジナル 音・人・旅(おとなたび)
 26 (火) 吉本章紘カルテット
 30 (土) 横山恵子(Tp) 大泉晴世(As) 西田亮(P) 他

■Cafe 萬屋宗兵衛

元町商店街1丁目 ウエディングサロン「イノウエ」地下
 ☎078-332-1963
<http://www.soubei.net/>



めざせJ1復帰!
ヴィッセル神戸

この選手に注目④

萩見太選手 GK



©2005 VISSSEL KOBE

一年を通して全48試合にもおよぶJ2リーグ戦。当然全ての試合が重要で、負けられない試合ばかりなのだが、節目には「山場」、「一大決戦」と呼ばれる試合がある。

そんな試合の数々を、持ち前のガッツと恐れを知らない果敢な飛び出しでゴールマウスを守り続けるのは、ヴィッセルの守護神、GK 萩見太（おきこうた・23歳）だ。

だ。

ゴールキーパーほど、切ないポジションは無いと人は言う。ピッチ上でプレーする11人のうち、10人に出場の間があるフィードプレーヤーと違い、ゴールキーパーはたったの一人。また、監督の心情から言えば、フィールドプレーヤーたちとの連携面を考えると、一試合ごとにキーパーを変えることはとても決断

し難い。ゴールキーパーという職業は「試合に出る」ことが最も困難なポジションなのだ。

岐阜県美濃市出身の萩は、岐阜工業高校3年時には高校選手権大会準優勝という栄誉を引き上げ、その年の2002年2月、ヴィッセル神戸へ入団した。

しかし、萩の頭上には年齢ももちろんのこと、実力もはるかに凌ぐ先輩ゴールキーパーたちが顔を揃え、試合に出場するどころかサブメンバーにも入ることすら出来ない日々。プロ選手としては華奢な体つきに、「線が細すぎる」とコーチに罵られるながら、人知れず朝に夕に筋力トレーニングに励む毎日が続いた。

そして入団5年目の今年、他のどの選手たちよりも長い「待ち時間」を経て、ついにその努力が実を結ぶときが訪れた。開幕戦こそ控えだったものの、第二戦目から先発メンバーへ抜擢されたのだ。

正キーパーとしてゴールマウスの前に立ちただけで、チームの最後尾から仲間たちを叱咤鼓舞し、相手選手の鋭いシュートには素早く反応して危機を回避する。

先日行われたライバルチームとの直接対決、いわゆる「大一番」では、ついに「マン・オブ・ザ・マッチ」を受賞する活躍を見せるまでに成長を遂げた。

オフの萩の素顔はというと、チーム随一の映画好き。気に入った作品があると何回も繰り返し鑑賞し、一人で三宮や元町界隈の映画館を訪れることも少なく無いんだそう。

「物事を洞察するような、人生を深く考えるようなストーリーリが好み」と話すその言葉は、ブライベートの話のほすが、ゴールキーパーという「仕事人」としての表情をチャラリと覗かせた。

チケットプレゼント

10/18(水) モンテディオ山形戦のバック指定席

(14:00 キックオフ@神戸ウイングスタジアム)

(当日¥3,500)

プレゼントをご希望の方は以下の項目をご記入の上、ハガキがFAXにて応募願います。

<宛先>

FAX 078-265-6002

〒651-0087 神戸市中央区御幸通6-1-20 三宮山田東急ビル6F

KOBECCO編集部「ヴィッセル神戸観戦チケットプレゼント」係

●応募者多数の場合、抽選とさせていただきます。

<締切> 9月20日(水)※消印有効

①ご希望商品名 ②氏、住所、氏名、年齢、電話番号

③届かなかったコーナー ④本誌へのご意見、ご感想など。

2組4名様に
プレゼント!!

オリックス・バファローズ日程

※関西のホームゲームを掲載しております

スカイ=スカイマークスタジアム
(神戸市営地下鉄西神山手線)
「総合運動公園」下車
ドーム=京セラドーム大阪
(大阪市営地下鉄長堀鶴見緑地線)
「大阪ドーム前千代崎」下車

2日(土) 14時~ <ドーム> VS ロッテ
3日(日) 13時~ <ドーム> VS ロッテ

8日(金) 18時~ <スカイ> VS 日本ハム
9日(土) 13時~ <ドーム> VS 日本ハム
10日(日) 13時~ <ドーム> VS 日本ハム
11日(月) 18時~ <スカイ> VS 日本ハム※予備日

12日(火) 18時~ <ドーム> VS ソフトバンク
13日(水) 18時~ <スカイ> VS ソフトバンク※予備日
14日(木) 18時~ <スカイ> VS ソフトバンク※予備日

26日(火) 18時~ <スカイ> VS 楽天
27日(水) 18時~ <スカイ> VS 楽天※予備日

ホームページ <http://www.buffaloes.co.jp>
携帯サイト <http://www.ob-mb.net>
テレフォンサービス ☎0180-99-7770
(つながらない場合は ☎078-795-6555)

■主なチケット販売所
※毎月1日より翌月分の販売スタート

●B-WAVE (三宮交通センタービル1F)
☎078-391-0016<店頭販売のみ>

●電子チケットぴあ
(ファミリーマート、サークルKサンクス)
☎0570-02-9999 (自動音声予約)
☎0570-02-9966 (Pコード予約)
☎0570-02-9111 (お問い合わせ)

●ローソンチケット
☎0570-084-005 (自動音声予約)
☎0570-000-777 (お問い合わせ)



© オリックス野球クラブ(株)

ヴィッセル神戸日程

※神戸でのホームゲームを掲載しております

ウイン=神戸ウイングスタジアム
(神戸市営地下鉄海岸線「御崎公園」下車)
ユニバー=ユニバー記念競技場
(神戸地下鉄西神山手線「総合運動公園」下車)

9日(土) 19時~ <ウイン> 第38節 VS 札幌
16日(土) 19時~ <三木陸> 第40節 VS 徳島
27日(水) 19時~ <ウイン> 第42節 VS 鳥栖



■チケット店頭販売は下記にて
ローソン、チケットぴあ、ファミリーマート、サークルKサンクス、セブンイレブン

ホームページ <http://www.vissel-kobe.co.jp/>
お問い合わせ ☎078-685-5519
(平日9時30分~17時)

ドラゴンゲート日程

神戸をホームタウンとする
プロレス団体です

※神戸での大会日程を掲載しております。

9月30日(土) 18時30分~ 大阪府立体育会館第2競技場
(各線なんば駅下車、南へ徒歩約5分)

ホームページ <http://www.gaora.co.jp/dragonate/>
お問い合わせ ☎078-333-9797

■チケットは大会により販売方法が
異なりますので、上記までお問い合わせ下さい

KOBE 鉄人PROJECT 長田を中心に始動!



一般も出入り自由な鉄人プロジェクト事務局
(アスタくにつか)



新長田駅前のバナー

『鉄人28号』『魔法使いサリー』『パピル2世』などでおなじみのマンガ家、故・横山光輝さんの生地である神戸市に、記念館を建設しようと、プロジェクト「KOBE鉄人PROJECT」が6月にスタートした。このプロジェクトは、主に新長田地区を中心にした神戸の事業者や団体に組織される実行委員会に、横山さんの著作権利をもつ光プロダクションの全面的な協力をえて、街ぐるみで推進される。

横山さんは、神戸市須磨区出身。太田中学へ須磨高校へ進学し、卒業後は、神戸銀行に就職したもの

の、マンガへの情熱が捨てられずすぐに退職。本格デビュー後は東京に住まいを移した。

今回、プロジェクト事務局のある新長田地区を中心に、街なかに横山作品のパナーを飾るなど、アミューズメント創造を開始、JR新長田駅前に鉄人28号ミニメントの設置計画も進められており、現在、ミニメント建築費への寄付金を募集している。新長田が「鉄人のまち」や、横山さんの「夢のまち」になるのも遠い未来ではなさそうだ。

■KOBE鉄人PROJECT事務局

神戸市長田区久保町6-1-1
アスタくにつか4番館4階

☎078-646-3028
http://www.kobe-iron.jp

3日間のマネースクール 「めざせ、貯蓄の達人!」

投資経験のない初心者
のためのお金の勉強会「めざせ、貯蓄の達人! 財テクセミナー神戸」が9月25日から3日間で開催される。講師は、しげみ順子さん。財テク歴30年以上のもとにした、金融機関のセミナーとは一味ちがう講演内容が好評をえている。

テーマは、1日目は外貨預金や株式投資などの基礎知識、2日目はつづれない銀行、倒産しない会社の見分け方などの行動編、3日目は株式投資の実践編、といった内容。持ち物はノート・筆記用具・日経新聞(土曜版)。1回のみ参加もOK。

とき 9月25日(月)〜27日(水)

9時30分〜11時30分
1回3000円

場所 神戸市教育会館402

受講希望者は、左記の住所かFAXにてお申込みを。

■申し込み・問合せ先

広島市安佐南郵便局私書箱15号
FAX 082-830-0708
(☎082-830-0737)



講師のしげみ順子さん

GALLERY

吉川周而さんの 作陶展

先月号のArt Viewのコーナーで紹介した陶芸家の吉川周而さんの展覧会が、三田のギャラリーけやきで開催される。

造形作品「のめずりこむ」で第7回国際陶磁器展美濃・国際陶磁器コンペティションのグランプリを受賞するなど、吉川さんはオブジェ作品で高い評価を受けているが、普段づかいの器もシンプルで温もりがあり、使い勝手が良い作品揃い。吉川さんの地元・三田のアットホームなギャラリーで、涼やかな風とともに作品を楽しんでみては。

とき 9月19日(火)〜

10月1日(日) ※月曜休

場所 ギャラリーけやき

三田市大原158679

(JR・神鉄三田駅より神姫バス成谷口下車、徒歩約10分)

☎079-562-9364



16㎡の小さなギャラリー 「アトリエ母小屋」



自身もユニークな作品作りをおこなっている
谷中さん(左)と森脇さん



ギャラリーの入口

若手現代アーティスト：谷中亜紀さんと森脇正奈さんが、若手アーティストの実験の場を作ろうと、「アトリエ母小屋（ICHIGOYA）」をオープン。場所は、トラロードの古い雑居ビルの5階で、16㎡の小さなスペース。友達達の家に遊びにきたようなこのアトリエでは、月の前半は制作の場・アトリエとして使われ、後半はギャラリースペースで展覧会が開催される予定。「ちょっとと個展したいな、というときに気軽に使っていただければ」と、谷中さん。ユニークな小物や作品、はがきな

どを販売するボックスもある。一般の方ものぞいてみてほしい。金曜休（けっこう不定期休）。9月17日（日）〜28日（木）は杉本まりこ展を開催。

■アトリエ母小屋
神戸市中央区下山手通2-13-10
喫茶「coco」のビル5階
☎078-9586465

六甲山でジャズ祭！ 「Mt. ROKKO JAZZ Festival」



小管根実さん

秋風の六甲山で迫力のジャズ演奏を。六甲山地区国立公園編入50周年を記念して実施されるイベントのメインを飾るのが「Mt.ROKKO JAZZ Festival（マウント六甲ジャズフェスティバル）」。中学生のビッグバンドから、関西屈指のプロジェクトジャズ奏者まで8団体が、六甲山の大自然の中で、演奏を行なう。六甲山名物を売る屋台も出る予定。音楽監督は小曾根実。出演は、溝口恵美子トリオ、ペントニック・オールスター

ズ小曾根実クインテット他。

とき 10月1日（日）

12時〜17時 小雨決行
場 所 六甲山カンツリーハウス
内特設会場入館料
当日券／大人 高校生以上
1200円／子ども800円

■実行委員会事務局
☎078-8910366

同人「輪」100号、終刊

伊勢田史郎、灰谷健次郎、丸本明子らが所属する、詩・小説・評論の同人「輪」が、7月に100号を発行し、同時に終刊することになった。

「輪」は1955（昭和30）年5月に、貝原六、山本博繁、中村隆、伊勢田史郎により創刊された。ベトナム反戦キャンペーンを行なうなど、社会に対する独自の姿勢をもちながら、個性的な文学者が集い、また例会では、熱い議論を交わされたという。

100号を迎え、「最期は曖昧にすべきでない」と、終刊を決めた、さきよさ。同人たちの熱い歴史に拍手を贈りたい。



「輪」100号

ぼたんの会

チャリティー美術展

菅原洗人、西村功の「月刊神戸つ子」で連載されたさし絵原画を中心に販売。売上げの半分はNGO／NPO団体の活動支援等に寄付される。

9月2日（土）〜12日（火）
11時〜19時 火曜と最終日は18時まで
ギャラリー島田（ハンター坂）
☎078-26268058



絵筆をとって80年 元川嘉津美作品展

元川嘉津美は二水会会員、神戸市文化賞、兵庫県文化賞などを受賞し昨年死去。昨年の追悼展に引き続き、油彩・水彩・ガラス絵等30点を展示する。

9月5日（火）〜10日（日）
10時〜18時 最終日16時まで
兵庫県民アートギャラリー（兵庫県民会館1階）
☎078-3212131



荻須高德展開幕



神戸市立小磯記念美術館で、特別展「没後20年 荻須高德展」が開幕。日本とフランスの近代絵画に大きな足跡を残した画家を顧みる。8月4日(金)にはテープカットが行われた。展覧会は10月9日(月)まで。

「ビバ!タカラジェンヌ」放送25周年

ラジオ関西「ビバ!タカラジェンヌ」が放送25周年を記念して、8月10日(木)神戸新聞松方ホールにて公開録音を行った。パーソナリティーの小山乃里子さんをはじめゲストに鳳蘭さん、初風緑さん、渚あきさん、桂小米朝さんらが出演した。



コウベスナップ

snapshots of kobe

生田神社大海夏祭



8月3日(木)〜5日(土)の期間、生田神社にて毎年恒例の生田神社大海夏祭が開催された。風さやかさんのライブやのど自慢大会、フリーマーケットなどが開かれ盛り上がりを見せた。



ひょうご女性未来会議



7月29日(土)、ひょうご女性未来会議が加古川プラザホテルで開催され、シンポジウムと交流会が行われ、井戸知事を迎えて盛大に。

バーボンクラブ 30周年

バーボンクラブが30年を迎えて、東京から新井満さん夫妻も来神。石阪春生展も小磯記念美術館で開催中とあって、芦屋のインド料理店「ジャンテ」にて旧交をあためた。



河内屋菊水丸さん ライブ



8月2日(水)の夜、サロン・ド・あいりで開かれたライブに登場したのは河内屋菊水丸さん。盆踊りシーズン真っ只中の菊水丸さんは長田出身のギタリスト石田さんと軽妙な河内音頭を披露。

樽本佳郎さんを偲ぶ会



7月28日(金)、神戸ポートピアホテル「偕楽の間」で、6月に急逝した樽本佳郎氏(樽本産業(株)代表取締役社長)を偲ぶ会が開催された。氏は(社)神戸青年会議所の43代理事を歴任。(社)神戸青年会議所の関係者など、最後の別れを惜しんだ。

神戸芸術文化会議・総会

神戸芸術文化会議(加藤隆久議長)の総会と懇親会が7月19日(水)午後5時30分から神戸ポートピアホテルで開催され、矢田市長を迎え200名が参加した。写真は新人紹介風景。



神うやふりの

涼平浮世絵

美しい建礼門院と義経の出会い

中右 瑛

屋

島合戦のまつただ中、どうした事か義経は海中に弓を落としてしまった。義経は懸命に拾い上げようとする。家臣の者が

「高価な弓であつても、お命には代えられませぬ」と制するも聞かず、義経は

「叔父・為朝のような強弓ならば、わざとでも敵に拾わせもする。しかし、この弓では源氏の大將の名を汚すことになる」

と言って、身を挺して拾い上げた。強弓でないことをあとで嘲笑されるのをおそれたからである。

名譽を汚さぬために命がけで拾い上げた義経の態度に、家臣たちは感銘したと言う。

このエピソードは、『平家物語』の中の「弓流しの故事」から由来している。

その直後、建礼門院が乗っている御座船を見つけ、義経はそれに乗り込んだ。天皇家のシンボル・三種の神器を取り戻すため、建礼門院に、安徳天皇ともども都へ還ることを諭した。

激戦のさなか、数奇な運命の美女・建礼門院と英雄・義経との出会いは、誠にスキャンダラスである。

建礼門院徳子は清盛の女で、野望家の父が仕組んだ政略結婚のため十歳年少の高倉天皇に入内し、治承二年(1178)安徳帝を産んだ。清盛は待ちに待った慶事に、小躍りし





一勇斎国芳画「八島大合戦」 弓流しの故事が浮世絵に描かれた



■中石瑛（なかうし えい）
抽象画家。浮世絵・夢二エッセイスト。一九三四年生まれ、神戸市在住。行動美術展において奨励賞、新人賞、会友賞、行動美術賞受賞。浮世絵内山賞、半どん現代美術賞、兵庫県文化賞、神戸市文化賞など受賞。現在、行動美術協会会員、国際浮世絵学会常任理事。著書多数。

中石瑛監修

竹久夢二と大正ロマン画家展

大正・昭和に活躍した、夢二、高島華宵、中原淳一、鍋木清方、伊東深水、岩田専太郎らの肉筆画、さし画、版画などを展示します。

■8月30日（水）～9月5日（火）

■阪神百貨店（大阪梅田）

■入場料 500円

て喜んだという。

子の安徳帝が二歳で天皇に即位、がその翌年、夫・高倉帝が崩御、そして父・清盛の突然の死、悲運が続き、建礼門院は激動の嵐に立たされる。平家一門の都落ちと共に流浪の旅が始まり、福原、大宰府と落ち延び、一の谷の敗北の後、屋島では、浮き草のような船での毎日であった。

流浪の建礼門院を誰もが哀れに思い、義経とて、若くして未亡人となった彼女に同情していた。

義経の論しに、建礼門院は拒み、二人は敵対する宿命を怨み、涙して別れた。

後の壇ノ浦合戦で建礼門院は

「これぞ最後」

と叫びつつ、母の二位の局・時子と我が子・安徳帝と共に、海に身を投げたが、建礼門院だけが奇しくも義経に助けられ、都に連れ戻された。平家一族が皆、死んでしまった中で唯ひとり、生き残った平家女人。やがて尼となり、京大原の寂光院で一族の菩提を弔う。

この屋島合戦のあと、平家終焉の地・壇ノ浦へと舞台は移る。

海船港

エーゲ海・黒海沿岸 クルーズ③

文・写真 上川庄二郎



港に上るとすぐ目に飛び込んでくるのが、聖ジョン・アリトルゲトス教会跡だ

◆ネセバル（ブルガリア）

イスタンブールから黒海に出、今日はネセバルを訪ねる。黒海沿岸で私を知っている都市の名前は、オデッサとヤルタぐらいしかなかった。ネセバルなんて町の名前は今まで聞いたこともないし地図でも見たことがない。

ところが、この町は一九八三年に世界遺産に登録された文化遺産の町だった。私が知らなかっただけで、ヨーロッパでは名高い観光地になっていて、数多く建ち並ぶ世界遺産の建造物の間に挟まるようにして土産物屋がぎっしり詰まっている。一体どこからこんなに多くの観光客が来るのか不思議で仕方がない。

黒海に突き出した半島の町は、周囲二キロほどで、ゆっくり歩いても、ものの二時間もあれば十分である。そんなところにわずかに三百メートル間隔ぐらいに由緒ある教会跡が所狭しと立て込んでいる。

ネセバルは、紀元前からの古い町で、ギリシャ、ローマ帝国、次いでビザンチン帝国の支配を受けながらもキリスト教を国教とするブルガリア帝国の一員として繁栄した。十五世紀にオスマントルコに征服され、イスラム教への転換を強制されたがこれを受け入れなかった。隠された修道院がネセバルに残存し世界遺産になったのだという。

十九世紀の後半、ブルガリアの革命家たちが立ち上がり、露土戦争を経、西側諸国の助けを受けたブルガリアが復活。しかし同時に、この戦争で勝利し力を得たロシアが南下政策を進めトルコに代わってブルガリアを衛星国家にすることが脅威

だった。これに対しビスマルクの調停に反発したロシアとドイツの関係は悪化し、かえってバルカンに火種を残すこととなった。

ドイツの同盟国だったブルガリアは、第二次世界大戦で、ソ連に占領され否応なくその傘下に入られてしまい、ソ連崩壊後やっと自由の身となることができ、NATOに加盟した。次はEUに加盟して真の自由主義陣営の仲間入りを目指している。バルカン半島の複雑な民族関係の中、何世紀にもわたり交互に大国の支配に甘んじながら、自立の意思を曲げずしたたかに生き抜いてきたブルガリアンの意気軒昂なところを垣間見た思いがする。

帰国して、大相撲を見ると、ブルガリア出身の琴欧州が一人気を吐き、横綱朝青龍と優勝を争っているではないか。ハングリー精神旺盛な琴欧州に何となく親しみが湧いてくるのも不思議ではないような気がしたものである。

◆ 兎（飛行機）と亀（船）

船の旅のいいところは何と云ってもホテルと交通機関が一体化しているところにある。亀（船）さんは、足は遅いが休まない。一夜明ければ次の



世界遺産の一つ、今は野外劇場にもなっている聖ソフィア教会



ギリシャ時代をしのばせるトミス遺跡公園

目的地に連れて行ってくれるから頼もしいことこの上ない。これに引き換え、兎（飛行機）さんは夜は一服するので使いづらい。

◆ コンスタンツァ（ルーマニア）

話は脱線したが、私たちが寝ている間も亀さんは休まず、翌朝コンスタンツァ着。

コンスタンツァなる町もまったく知らなかったが、ここも黒海に面したルーマニア最大の港町であるばかりか、黒海沿岸でも有数の港湾都市であるという。コンスタンツァには、ギリシャ時代の遺跡も多く残され、町の中心部が遺跡公園になっている。

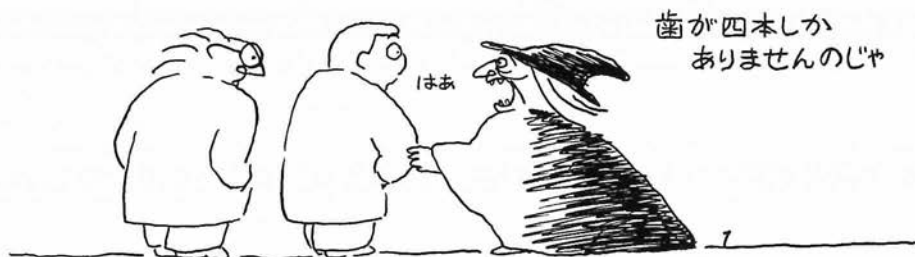
ルーマニアもブルガリアと同じように、ギリシャ、ローマ帝国に支配されるなど、劇的な血だらけの騒ぎを繰り返し、オスマントルコの属国になり、ロシアの保護領になるなど常に大国の存在に脅かされてきた。そして、この国で忘れることのできないのが二十世紀後半のルーマニアを恐怖政治で支配したチャウシェスクの独裁体制だった。今は、共産主義政権から脱却。民主主義、市場経済を目指して、先ずはNATOに加盟し、次なるEUへの加盟を目標に政治・経済の建て直しに懸命だ。しかし、実態は貧富の差もひどく、大変なインフレが続いていることも事実。まだ前途多難と見るべきだろう。

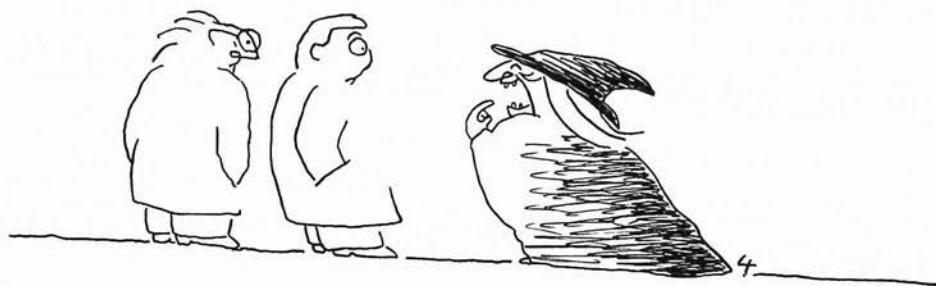
今回は、ウクライナ。



■ かみかわ しやうじろう
1935年生まれ。

神戸大学卒。神戸市に入り、消防局長を最後に定年退職。その後、関西学院大学、大阪産業大学非常勤講師を経て、現在フリーライター。





四つ葉のクローバー!



あたり!